

ウェイアンドアイフォーラム 第1回 レポート

Way&I Forum

【開催概要】

開催日時: 2014年11月21日(金) 13~17時

会場: NEC本社43階会議室

参加人数: 17名

主催: 株式会社ウェイアンドアイ

第1部: 馬橋 和弘 (株式会社ウェイアンドアイ 代表取締役社長)

第2部: 粟野 智子 (株式会社ウェイアンドアイ 代表取締役)

第3部: 馬橋 和弘 (株式会社ウェイアンドアイ 代表取締役社長)



■第1部 オリエンテーション

【一人ひとことタイム、目的・期待の共有】

まずは、テーブル内で「一人ひとことタイム」です。社名・お名前、参加の目的や期待を共有しました。以前のイベント後、久しぶりに集まった皆様の笑顔が印象的です。また、初めて参加された方もすぐに会場の暖かい雰囲気に慣れ、打ち解けていました。その上で、本フォーラムのテーマをあらためて共有しました。今年度のテーマは、「理念共有×組織開発=イノベーション」。これまで探求してきた理念共有に組織開発という考え方を取り入れた展開で、新たなイノベーションを生み出していくことを目的としています。

【テーマについての立ち位置を見える化!】

続いて、テーマにある3つのキーワード、「理念共有」「組織開発」「イノベーション」について、それぞれ、自分がどのくらい身近に向き合っているか、距離を感じているか、立ち位置を見える化しました。また、その背景や理由を全員で語り合いました。一人ひとりの背景や理由を知ることで、深い共感や一体感が生まれるものですね。



■第2部 オープニング講演

【カウンセリング、そして エドガー・H. シャイン教授との出会い】

第1回にあたり、このフォーラム開催の経緯について、弊社代表取締役の粟野が語りました。カウンセリングと出会い、人の生きる力を信じることの重要性を学んだことに始まり、キャリア・アンカーという概念に出会った瞬間にパーっと視界が広がるような昂揚感を感じたこと、そして、理念経営の可能性を感じ、その実現のためのワークショップ・プログラムを開発したこと。そして、神戸大学の金井壽宏教授との出会い、さらに、M I Tのエドガー・H. シャイン名誉教授の当時のご自宅でお会いした時に、開発したワークショップに対して「Great Innovation!」とご評価いただいたこと、「このフォーラムのフィロソフィーは働く社員が幸せになること。社員が幸せになれば、より良い仕事ができ、お客様を幸せにし、会社も幸せになれる」とお言葉をいただいたことなどが語られました。

【理念共有×組織開発=イノベーション】

組織開発の概念の源流は、M I Tでシャイン教授の先輩でもあり、「社会心理学の父」と呼ばれるクルート・レヴィン。その後、組織開発はさまざまな形で展開されることになりました。今回は、「組織開発と組織変革は何が違うのか」、「組織開発とはそもそも何なのか」、「組織開発で大切にしている4つの価値観」などについて、語り合いました。かたや、イノベーションはヨーゼフ・シュンペーターによってはじめて定義されたということ、もともとイノベーションは、技術革新という意味合いでしたが、次第に領域が広くなり、新しい組織の創造もイノベーションと言われるようになってきたことなどを確認。さらに、組織イノベーションに向けて、U理論について紹介されました。今夏にアメリカの学会に参加した折、M I Tのオットー・シャーマー教授のセッションで「Uの谷を降りるにはどうすればいいのか」「最後の手放すことが難しいが、どうすれば手放せるのか」と質問し、回答を得た話が共有されました。

最後にUの谷を降りるのに、有効な方法として、シャイン教授のアンカーという概念を活用した、弊社の理念共有ワークショップの内容を少し体験していただきました。また以前のフォーラムで登壇していただいた株式会社フェリシモの事例を交え、自分と組織のWHYを考えることの重要性について語り合いました。「理念浸透と共有の違い」を花王株式会社の下平博文さんに、「U理論について」をNECの小西勝巳さんにお話を補足していただいたりと、参画型で気づきを得ながら、現場や職場でのヒントを共有することができました。





■ブレイクタイム

会場後方にクリスマスにちなんだお菓子をご用意し受付で配られたオーナメントを、参加者全員が持ち寄ることで、クリスマスツリーを完成させるという演出でした。時間を忘れ、所々でリラックスしながら談笑される姿が見られました。こうした会社間を越えた交流もフォーラムならではの、今後も大事にしたい時間です。家、職場以外の、第3の場所“サードプレイス”として出会いや心の交流ができる空間となるよう、スタッフ一同力を合わせていきたいと思いを。



■第3部 ダイアログセッション

【気づきと学びを語り合い、チェックアウト】

ブレイクタイムの雰囲気そのままに、最後のダイアログセッションが始まりました。

まず、ポストイットに各自気づきや学びをまとめた後、テーブルごとに、職場で実践したいことを語り合いました。

最後に会場全体でのチェックアウト。参加者全員が一言ずつ発表しました。お一人おひとりから、自分の感性で捉えた素晴らしい気づきや学びが披露され、それがまた全員の気づきと学び、さらに職場での実践の後押しとなっているようでした。



会場の外では、お台場が夕暮れから夜景に変わる頃、第1回フォーラムは終了しました。さすが、NEC本社ビルの最上階、素晴らしい眺めです。終了後も名刺交換をしたり、熱くお話しが盛り上がり、別れを惜しんだりする姿が見られ、参加の皆さんにとって熱い豊かな時間だったことが感じられました。



【参加者の声】

- ・各社様の活動が活発なことに刺激を受け、有意義な時間でした。
- ・断片的に知っていた知識がつながり、新たな価値を教えていただいたように思います。
- ・「できること論」ではなく、「ありたい論」からの発想が大事。
- ・大阪でも開催していただければありがたいです。
- ・自分の気づきを他の人にシェアすることでさらに気づきを発見できる。
- ・U理論が興味深かった。さらに探究を深めたい。
- ・今回のフォーラムで気づき・学びが人によって違ったのが面白かった。学んだことを各社でどう実行していくか興味があります。
- ・とてもステキなワークショップ会場でワクワクしました。内容とマッチングしたロケーション。
- ・手作り感のあるおもてなしを受けて、ぬくもりのある時間でした。



ご参加の皆さん、ありがとうございました。次回もお待ちしております！

写真：井上正己